

栄光の架橋

「栄光の架橋」。いつから青葉中学校の進路だよりの名前になったか分かりませんが、少なくとも9年以上前からのことと思います。願いのこもったこのタイトルのもと、たくさんの卒業生たちが巣立っていきました。現在の3年生は、2021年度卒業生になりますが、皆さん達が受験(検)する高校入試は2022年度(令和4年度)入試になります。

新学期が始まり、3年生のスタートが切られました。今年はいよいよ「卒業したあとの道」を考え、選択する年です。学年集会でもお話しましたが、「いい時間の過ごし方」をしてほしいと思います。学習でも行事でも部活動でも言えることです。すぐ結果に結びつかないとあきらめたり、いらいらしたりせず、今何をしたらいいのかしっかりと考え、行動して行ってほしいと願っています。進路とは……「進路」＝「進学指導」ではありません。自分の進む「道」を考え、実現させるための学習です。この1年意識してほしいことは

努力する自分であること

～努力の仕方・中身が大切です。



自分について考えること

～良いところも悪いところも
素直に認めた上で目標をもちましょう。

来年3月、進路先が決まったとき、「決まってよかった」という思いだけでなく、「この一年で自分が成長した」「壁を乗り越えようとする力がついた」「充実した一年だった」という思いが残るといいなあと思っています。

この「進路だより」は進路実現に向けての“情報提供のたより”であるとともに、皆さんにとって必要な“心構えを伝えるたより”になればと思います。生徒数の減少に伴い定員数に変更になる高等学校があるなど受験体制も毎年、様変わりしてきています。新聞や雑誌からも様々な情報が入るかと思いますが、学校側からも、素早く正確な情報を提供したいと努力します。

お願い 皆さんと保護者の方へのお願いです

提出物に関して、「これくらい」という甘えは許されません。今後、進路係から「進路だより」「高校説明会」「奨学金のお知らせ」「進路資料」「出願関係資料」「進路希望調査」など、本人・保護者に関わるプリントがたくさん出されます。提出期日の決まっているものの中には、期日を過ぎると手続きなどが間に合わなくなることもあります。

- ① 「進路だより」や「進路学活資料」などのプリントは必ずご覧ください。保管もお願いします。
- ② 「進路希望調査」や「手続き関係の書類」は期限内に必ず提出をお願いします。
- ③ 進路関係書類は保護者の方と生徒本人の気持ちを一致させた上で提出してください。
*書類には保護者・本人の署名をします。必ず本人が署名してください。

◇各学級で進路プリント保存用の『ファイル』が配布されますのでご活用ください。(「進路便り 居間」というのを1冊配布いたしました。)この「進路ファイル」がそのまま「進路関係の資料集」になります。入試制度や手続きなどを『いつ』『何を』『どのように』すべきかを再確認する際などに利用していただければと思います。

ファイルの保管場所は居間がおすすめです。

自分に合った自分なりの勉強法を身につけよう

3年生は、勉強、委員会、行事、部活と毎日が忙しくなります。

その日のこと、目の前のことしか考えていないと、あっという間に「進路選択の時期」になってしまいます。「進路選択」は11月末。いつか考えよう、と先延ばしにしていく訳にはいきません。まずは進路に向かう姿勢を整えて！

① 計画的に学習を進めよう

いつ頃どんな勉強をしていけばよいか、見通しを持って計画的に取り組むことが大切です。進路だより次号に掲載しますが、今は1・2年生の復習に取り組み始める時期になります。3年生の毎日の勉強と二本立てで進められるように、習慣化していくことが大切です。ですが、現実として、まだ1・2年生の復習まで手が回っていない人もいることでしょう。遅くとも1学期期末試験が終わったあたりから勉強に力を入れ始め、夏休み中には、必ず「1・2年～3年1学期の復習」をひと通り終えられるように、取り組んでいきましょう。

② 3年生の勉強は授業で勝負

1・2年の復習の時間を確保するためには、3年生の学習内容はできるだけ授業でしっかり理解する必要があります。授業に集中し、朝や休み時間など、時間を有効に使うようにしましょう。

学校で勉強したことは確実に身に付けて帰るように頑張ってもらいたいものです。

③ 学習できる環境をつくろう

生活が乱れていると勉強を効率良く進めていくことはできません。また、注意されることが多ければ気持ちがイライラして勉強する気分にもなれないと思います。規則正しく落ち着いた生活を続けていけることが学習の大きな支えになります

生活全般が安定していることが学習できる環境を作っていくための第一歩です。

連絡 進路希望調査(第1回)

4月12日(月)に第1回の進路希望調査を実施します。この調査をきっかけに将来を見通した「進路希望」と、その実現に向けて必要な「努力目標」を持てるようになることがねらいです。4月中に3年生も教育相談をもち、そこで使用する予定です。

あくまでも、「現時点でどのように考えているか」ということですので、以降進路先の変更があっても構いません。今後学活などでどのような進路先(公立私立の高校等)があるかの学習もしていきますので、どんな進路先があるかわからない、受験したい高校が未定であっても、これを機会に保護者や先生と話し合う機会がもてるように、あえて高校名を記入してみたいと思います。

また就職を考えている生徒は、1学期中から相談していきますので、よく考えて希望調査に記入してください。〆切りは16日(金)です。

★4月14日(水)第1回学力テスト 国語 数学 社会 理科 英語

各100点満点 (順番や時間45分は本番の公立高校入試(50分)とほぼ同じです)

範囲は1.2年生全範囲

このテストで最初の学力点が分かります。

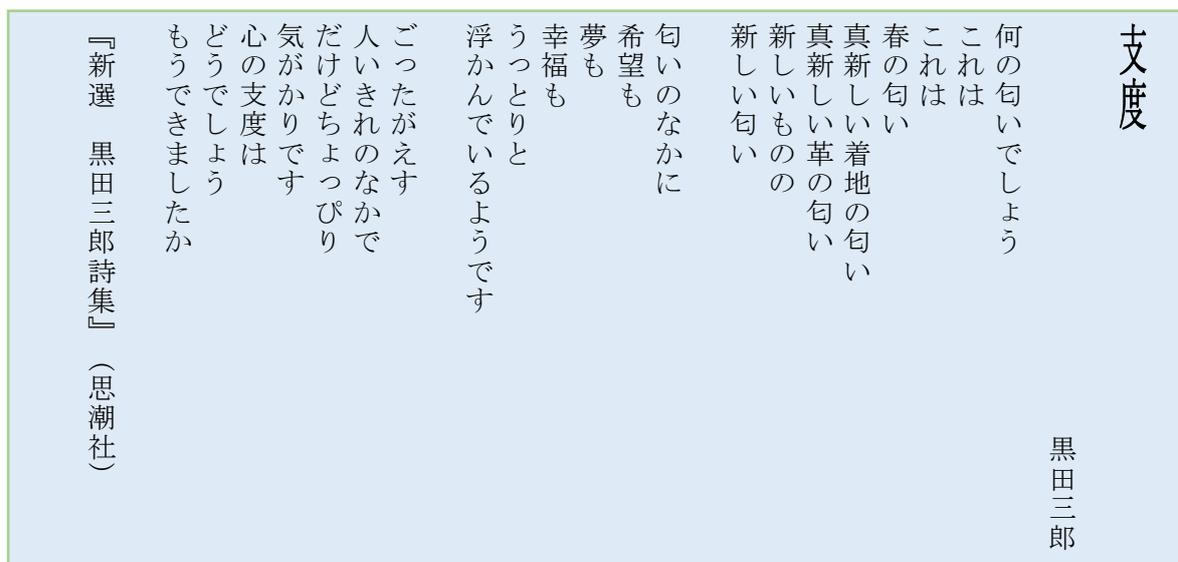
学習点の方は皆さん分かっていますか? あなたの現在の……

(空欄が埋まらなければ教育相談の時に担任の先生まで)

学習点	
ランク	

■進路便り「栄光の架橋」発刊に寄せて

「今から ここから」



上に載せた「支度」という詩を読んでも、「支度なんかできているのだろうか?」「どんな支度をすれば(どんなことをしておけば)いいのだろうか?」と、かえって不安になるかもしれません。

●「自分の進路は自分で決める」ために

中学3年生の「進路指導」というのは、「そういう人たち(まだ支度のできていない人)が大多数である」という前提から出発します。さまざまな見通しを示しながら、みんなが自分の将来のことを考えて行くきっかけを提供できたらと思います。

そして、最終的に、みんながそれぞれ「自分の道(進路)を自分で決めていってくれる」ことが、私たち教師の「進路指導」の目標です。私たち3年生のスタッフは「正しい情報の提供者であり、よき相談相手」でありたいと思っています。どうぞ、気軽に相談してください。進路は先が見えないから不安なもの。しかし、「不安だ。何をしたいかわからない」と言っても、何も取り組めないのが一番恐いことです。担任の先生、学年の先生のアドバイスに従って、「今からここから」スタートをきってください。みんなのこれからを応援しています。

■保護者のみなさまへ 保護者としてのたのしみはないものでしょうか。

何より、「大人になっていく自分の子ども」を発見する、親としても感激できる年のはずです。急激に大人に近づいていく、遅くなっていく子どもたちを間近に見るのは、大人の我々にとって有意義なできごとです。

また、この1年は、ご家庭でも、大人としての意見・経験など、「生き方」を子どもたちに伝えるまたとないチャンスだと思います。そんなカッコイイ言葉で言わなくても、子どもたちは「自分の親や他の大人が今までどう生きてきたか?」ということにはとても興味を持っていますから、ぜひ話してみてください。それはまた、自分自身の人生を振り返り、これからの考えるチャンスでもあります。子どもの相談にのりながら、子どもと一緒に考えていくことで、新たな発見(子どもについて、自分について)がきっとあることでしょう。そう考えると、進路の年も楽しみです。

●「自分の進路は自分で決める」ということについて

先に、子どもたちに向けて「自分の進路は自分で決めることが大事」と書きました。こう書くと「親は子どもの進路に口をはさめないのかな?」と心配される方もいるかもしれませんが、そうではありません。保護者として、子どもたちの生活や経済的なことなどの面倒も見ていくお母さん、お父さん方が、子どもの進路に関して意見を言うのは当然のことです。そして、親には親の意見や願いがあります。子どもの将来を思っているからこそ、「こうなってほしい」と願います。そういう意見や願いなどは、ぜひ子どもたちに伝えてもらいたいと思います。

けれども、子どもには子どもの願いや意見もあります。お互いに意見が食い違い、衝突する

こともあることでしょう。そういう時には、「お互いの意見をしっかり相手に伝えた上で、一緒に考えていく」ことが必要になってきます。そういう意味ではこの進路だよりと一緒に読むことや年に何回かある「進路希望調査」の提出などをきっかけとして、ぜひ一緒に考えていただきたいと思います。

最終的にはその人生を歩いていくのは子どもたちです。どんなに「子どもに良かれ」と思ってすすめた道でも、必ずしもよいとは限りません。そんなとき、子どもが辛そうだからといって、大人は子どもに代わってあげることはできません。

「自分の進路は自分で決める」ということは、そういう進路の分かれ道で決断をしていく子どもたちを「大人の一人として認める」ということでもあるのです。子どもたちが大人になっていく大事なチャンスと一緒に応援していってもらえればと思います。この1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

進路だよりは情報だけではなく、こうして考え方もたまにですが、紹介していこうと思います。

●昨年度 進路係として感じたこと

中学校を卒業してからの進学先の選択肢が益々増えたなということを感じました。また公立高校と私立高校の経費の差もどんどん狭まってきているということ、特に私立高校の方はたくさん特色を出していく高校が目立ってきたという印象です。これは少子化に伴って国全体で子供たちの教育の機会を支援している社会の流れだと理解しています。また通信制の高等学校も増えてきて、それぞれの子供に合った進学先が益々増えてきたと思います。青葉中学校のような公立の中学校ではどの生徒にも平等の教育を施すことになりませんが、中にはこうした教育の中身が自分に合っていないと考えている人もいるでしょう。ところが札幌でもその人に合った上級学校が本当によく整備されてきたというように感じています。

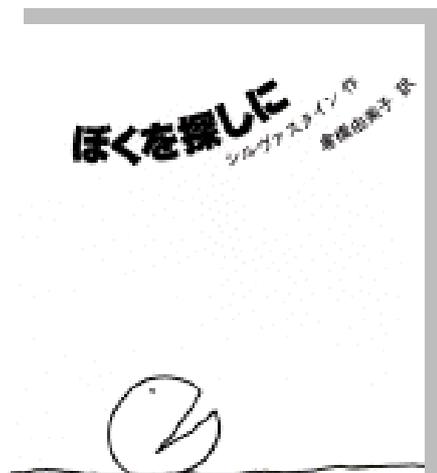
進学先をよく研究して、上級学校で自分を伸ばせそうな進路選択を是非していただければと思います。

●上級学校調べというのをやります。

これは3年生のみんなですべて1人1校ずつ、その特色などを調査して廊下に掲示するものです。先生の説明に従って有意義な「上級学校調べ」をして下さい。実施時期は6月半ば過ぎです。

最後に…この一年は多くの方が自分の将来のことを考え、心悩ませ葛藤する一年間になると思います。新たな気持ちで頑張ってもらいたいと思いますし、先生方も最大限のお手伝いをしたいと思います。何かご不明な点がありましたら、係（森永）まで遠慮なく相談をして下さい。一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

(文責：進路係 森永 幸夫)



「何かが足りない それでぼくは楽しくない
足りないかけらを 探しに行く」
ころがりながら、歌いながら、足りないかけらを探します。
みみずと話をしたり、花のにおいをかいだり、楽しみながら、野を越え、海を越えて進みます。
かけらを見つけますが、小さすぎたり、大きすぎたり。
ぴったりだと思っても、落としてしまったり、きつくわえすぎて壊れてしまったりします。
そしてとうとう、ぴったりのかけらに出会います・・・